

災害復旧工事の設計要領 目 次

第Ⅰ編 一般事項

第1章 総 則	3
第1節 一般事項	3
1 - 1 査定設計書作成上の留意事項	3
1 - 2 大規模災害における復興係数・復興歩掛について	8
1 - 3 総合単価	8
1 - 4 災害復旧工法の工夫について	10
第2節 工事費の構成	12
2 - 1 工事費の構成	12
第2章 工事費の積算	13
第1節 直接工事費	13
1 - 1 材 料 費	13
1 - 2 労 務 費	13
1 - 3 直接経費	13
第2節 間接工事費	21
2 - 1 総 則	21
2 - 2 共通仮設費	21
2 - 3 工種区分	21
2 - 4 算定方法	22
2 - 5 共通仮設費の率分	27
2 - 6 運 搬 費	31
2 - 7 準 備 費	45
2 - 8 事業損失防止施設費	45
2 - 9 安 全 費	46
2 - 10 役 務 費	47
2 - 11 技術管理費	48
2 - 12 営 繕 費	49
第3節 現場管理費	52
3 - 1 現場管理費の項目及び内容	52
3 - 2 現場管理費の算定	53
3 - 3 現場管理費率の補正	53
3 - 4 支給品の取扱い	57
3 - 5 現場管理費の積算	57

3 - 6 「処分費等」の取扱い	57
3 - 7 現場管理費の計算	58
第4節 現場発生品及び支給品運搬	60
4 - 1 適用範囲	60
4 - 2 施工パッケージ	60
第3章 一般管理費等及び消費税相当額	63
第1節 一般管理費等	63
1 - 1 一般管理費の項目及び内容	63
1 - 2 付加利益	64
1 - 3 一般管理費等の算定	64
1 - 4 一般管理費等率の補正	64
第2節 消費税等相当額	66
第4章 数値基準	67
第1節 数値基準	67
第5章 建設機械運転労務等	71
第1節 建設機械運転労務	71
1 - 1 適用職種	71
1 - 2 労務歩掛	71
第2節 原動機燃料消費量	72
2 - 1 適用範囲	72
2 - 2 燃料消費量	72
第3節 機械運転単価表	79
第4節 一般事項	88
4 - 1 建設機械運転労務	88
4 - 2 指定事項における運転労務数量について	88
4 - 3 運転日当り運転時間(T)	88
4 - 4 運転手を計上する機械	88
4 - 5 労務単価について	89
4 - 6 歩掛について	89
4 - 7 運転手職種別の対象機械	90
第6章 時間的制約を受ける公共土木工事の積算	95
第1節 時間的制約を受ける公共土木工事の積算について	95
第7章 災害査定設計書記載例	99
第1節 積上げ積算による査定設計書記載例(河川災害復旧工事)	99

第Ⅱ編 共通工

第1章 土工	107
第1節 土量変化率等	107
第2節 土工	112
2-1 土工	112
2-2 土工(ICT)	144
第3節 作業土工	154
3-1 床掘工	154
3-2 埋戻工	162
第4節 人力運搬工	168
第5節 安定処理工	180
5-1 安定処理工	180
5-2 安定処理工(自走式土質改良工)	183
第6節 土砂運搬工(不整地運搬車による運搬)	187
 第2章 共通工	191
第1節 法面工	191
1-1 法面整形工	191
1-2 法面整形工(ICT)	200
1-3 芝付工	203
1-4 コンクリート法枠工	205
1-5 法面施肥工	215
1-6 吹付法面とりこわし工	217
1-7 プレキャストコンクリート板設置工	220
1-8 人工張芝工	224
第2節 基礎・裏込碎石工	227
第3節 コンクリートブロック積(張)工	231
第4節 石積(張)工	257
4-1 石積(張)工	258
4-2 平石張工	268
第5節 場所打擁壁工	272
5-1 場所打擁壁工(1)	272
5-2 場所打擁壁工(2)	289
第6節 プレキャスト擁壁工	292
第7節 補強土壁工(帶鋼補強土壁, アンカー補強土壁)	296
第8節 ジオテキスタイル工	302
第9節 排水構造物工	309

9 - 1	排水構造物工	309
第10節	軟弱地盤処理工	339
10 - 1	サンドマット工	339
10 - 2	粉体噴射搅拌工(DJM工法)	341
10 - 3	スラリー搅拌工	347
第11節	アンカー工(ロータリーパーカッション式)	357
第12節	構造物とりこわし工	370
第13節	コンクリート削孔工	375
第14節	ガス切断工	382
14 - 1	ガス切断工	382
第15節	吸出し防止材設置工	384
第16節	目地・止水板設置工	386
第17節	旧橋撤去工	391
第18節	かご工	407
第19節	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工	414
第20節	現場取卸費	426
第21節	骨材再生工(自走式)	431
第22節	函渠工	435
22 - 1	函渠工(1)	435
22 - 2	函渠工(2)	442
第23節	殻運搬	445
第3章	基礎工	453
第1節	鋼管・既製コンクリート杭打工(パイルハンマ工)	453
第2節	鋼管・既製コンクリート杭打工(中掘工)	460
第3節	杭頭処理工	467
第4節	場所打杭工(全回転式オールケーシング工)	468
第5節	場所打杭工(リバースサーチュレーション工)	475
第6節	場所打杭工(アースオーガ工, 硬質地盤用アースオーガ工)	482
第7節	場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)	488
第8節	場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)	498
第4章	コンクリート工	519
第1節	コンクリート工	519
第2節	型枠工	532
第3節	張りコンクリート工	537
第5章	仮設工	547
第1節	鋼矢板(H形鋼)工(バイブロハンマ工)	547

第2節	油圧圧入引抜工	571
第3節	矢板工(アースオーガ併用圧入工)	586
第4節	鋼矢板(H形鋼)工(クレーン引抜工)	590
第5節	鋼矢板施工法選定(参考)	593
第6節	仮設材設置撤去工	597
第7節	足場支保工	606
7-1	足 場 工	606
7-2	支 保 工	609
第8節	締切排水工	612
第9節	土のう工	617
9-1	土のう工	617
9-2	大型土のう工	618
第10節	仮橋・仮桟橋工	624
第11節	仮囲い設置・撤去工	637
11-1	仮囲い設置・撤去工	637
第12節	仮設防護柵工(切土及び発破防護柵工)	639
第13節	敷鉄板設置・撤去工	643
第14節	法面工(仮設用モルタル吹付工)	646

第Ⅲ編 河 川

第1章	河川海岸	653
第1節	消波根固めブロック工	653
第2節	消波根固めブロック工(ブロック撤去工)(0.25t以上35.5t以下)	684
第3節	捨 石 工	688
第4節	消 波 工	691
第2章	河川維持工	709
第1節	多自然型護岸工	709
1-1	巨石積(張)工	709
第2節	木 杭 打 工	717
第3節	巨石据付工	719
第4節	護岸基礎ブロック工	721
第5節	かごマット工	729
5-1	かごマット工(スロープ型)	729
5-2	かごマット工(多段積型)	731
第6節	ブロックマット工	735
第7節	野芝種子吹付工	739
第8節	袋詰玉石工	743

第9節	笠コンクリートブロック据付工	746
第10節	連節ブロックの水中吊落し工	750
第3章	砂防工	753
第1節	土工	753
第2節	コンクリート工	765
[1]	コンクリート工	765
[2]	コンクリート工(ケーブルクレーン打設)	772
第3節	仮設備工	780
第4節	石材等採取工(割石, 雜割石, 野面石採取)	787
第4章	地すべり防止工	789
第1節	集水井工(ライナープレート土留工法)	789
第2節	地すべり防止工(集排水ボーリング工)	797
第3節	地すべり防止工(山腹水路工)	805
第4節	地すべり防止工(ふとんかご)	818
第5節	地すべり防止工(じゃかご)	821
第6節	集排水ボーリング孔洗浄工	824
第IV編 道路		
第1章	舗装工	829
第1節	路盤工	829
1-1	路盤工	829
1-2	路盤工(ICT)	839
第2節	アスファルト舗装工	846
第3節	コンクリート舗装工	858
第2章	付属施設	865
第1節	防護柵設置工	865
1-1	ガードケーブル設置工	865
第2節	落石防止網(繊維網)設置工	870
第3節	立入り防止柵工	871
第3章	道路維持修繕工	879
第1節	路面切削工	879
第2節	舗装版破碎工	885
第3節	舗装版切断工	890

第4章 共同溝工	895
第1節 電線共同溝工(C・C・BOX)	895

第V編 建設機械経費

第1章 機械経費	915
第1節 請負工事機械経費積算要領	915
第2節 建設機械損料表の見方について	921
第3節 建設機械等損料算定表	925

第VI編 参考資料

第1章 歩掛(参考)	1011
第1節 アンカー式空石積工	1011
第2節 連続繊維補強土工	1016
第3節 落石防護柵設置工(人力施工)	1022

第2章 設計資料	1025
第1節 基礎資料	1025
1 - 1 流速計算表	1025
1 - 2 丸太材積(立方メートル)	1027
1 - 3 鋼材諸元	1029
1 - 4 河川港基準面一覧表	1032
第2節 設計資料	1033
2 - 1 のり面保護工選定資料	1033
2 - 2 ブロック積	1037
2 - 3 擁壁設計資料	1045
2 - 4 地すべりの安定解析と安全率	1054
2 - 5 地すべり防止工法例	1068
2 - 6 アンカー工の設計・施工	1075
2 - 7 護岸用鋼矢板選定についての留意点(参考)	1078
2 - 8 鋼矢板護岸(査定参考)	1078
2 - 9 一般鉄筋コンクリート設計資料	1112
2 - 10 コンクリートの養生について	1115
2 - 11 仮締切堤設置基準(案)	1116
2 - 12 鋼矢板二重式仮締切工法	1120
2 - 13 砂防堰堤設計資料	1120
2 - 14 橋梁計画に関する資料	1123
2 - 15 海岸の根固工、消波工の設計	1128

第3章 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の概要について	1131
第1節 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の概要について	1131
1-1 これまでの改定経緯	1131
1-2 平成30年の改定について	1132
1-3 ガイドラインの位置付け	1133
1-4 災害復旧の基本的な考え方	1133
1-5 原形復旧のポイントについて	1135
1-6 改良復旧のポイントについて	1141
1-7 多自然川づくりアドバイザー制度等	1147
第2節 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」ガイドラインの改定について	1149
〔参考資料〕 激甚な災害後の大規模な河川整備における一層の河川環境の保全を目指して -「多自然型川づくり」アドバイザー制度の創設-	1174
第3節 環境に配慮した海岸の災害復旧	1177
第4節 改良復旧事業の取扱いと事業計画策定について	1180
第5節 改良復旧事業の事例	1194
第4章 災害復旧工法について	1205
第1節 河川護岸工法検討例	1205
第2節 復旧工法の事例	1207
第3節 多様な護岸工法の試み事例	1222
第4節 その他	1234
主要技術基準及び参考図書	1241